

事前評価個表

整理番号	7
------	---

地域（地区）名	子吉川 <small>こよしがわ</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	秋田県	対象市町村	由利本荘市ほか1市 <small>ゆりほんじょう</small>
事業実施期間	R3年度～R7年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、秋田県の南西部に位置し、北は秋田市、南は山形県庄内地域に接し、西は日本海に面した区域で、由利本荘市とにかほ市の2市で構成されている。</p> <p>本地区の森林面積は105千haと土地面積の72%を占め、民有林は82千ha（民有林率78%）、うち人工林は49千ha（人工林率60%）と、民有林率・人工林率とも県平均（53%、58%）を上回っている。</p> <p>人工林は、主に昭和30年代以降に拡大造林されたもので、Ⅲ～Ⅻ齢級が37千haと76%を占めており、森林の健全性を確保するため間伐等の森林整備が必要である。</p> <p>また、標準伐期齢を超えるⅫ齢級以上の割合が53%に達する一方で、Ⅰ・Ⅱ齢級の割合は2%程度にとどまっており、林業の採算性の悪化や後継者不在による森林所有者の経営意欲の減退により、適切に更新されない森林が増加し、水源涵養機能等の森林の有する公益的機能の低下が懸念される。</p> <p>本地区では、意欲と能力のある林業経営者を主体に、高性能林業機械の導入や労働者のスキルアップなど、労働生産性の向上の取組が行われているが、利用期を迎え主伐の増加が見込まれるなか、森林の適切な更新を図り公益的機能を維持・増進していくためには、林道の開設による素材生産費の低減と再造林等の森林整備の低コスト化が必要である。</p> <p>このため、子吉川森林環境保全整備事業計画を作成し、本事業により、主伐後の再造林のほか、施業の集約化や路網整備を通じた計画的かつ低コストな森林整備を促進することで、森林の有する多面的機能の高度発揮を図るものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,318ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林道開設 延長2,500m</p> <p>総事業費：4,548,772千円（税抜き4,135,247千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 5.15$</p> <p>（総便益（B）=36,670,187千円、総費用（C）=7,125,833千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な人工林が大半を占めているとともに、適切に更新されない森林の増加により、水源涵養機能等の森林の有する公益的機能の低下が懸念されるなど、間伐や再造林が必要な地区であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、計画的な森林整備の促進により、施業の低コスト化が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：適切な森林の更新や計画的な森林整備を行うことで、森林の有する多面的機能の高度発揮を図ることを目的としており、事業の有効性が認められる。</p>

整理番号

7

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：秋田県

地域(地区)名：子吉川こよしがわ

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,493,014	
	流域貯水便益	3,153,110	
	水質浄化便益	11,388,305	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,486,900	
環境保全便益	炭素固定便益	4,320,294	
木材生産等機能	木材生産確保・増進便益	1,652,745	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	175,819	
総 便 益 (B)		36,670,187	
総 費 用 (C)		7,125,833	
費用便益比	$B \div C = \frac{36,670,187}{7,125,833} = 5.15$		

